

今年のテーマは「絆」

認める・かかわり・支える

八月八日、関川中学校を会場に「いじめ根絶関川村民集会」が開かれました。

この集会は、昨年に引き続き村教育委員会の主催で行われたもの。この集会を通して児童・生徒一人ひとりが、いじめに対する意識を高め、学校や家庭、地域が一体となっていじめを許さない社会にしていくことを目的に実施しています。



参加した児童・生徒一人ひとりのメッセージが
込められたパネル

いじめを
許さない
社会づくり

いじめ根絶関川村民集会には、村内五つの小学校の四年生以上の児童と関川中学校の全校生徒をはじめ、教育関係者や保護者など約四百二十人が参加しました。

いじめ根絶関川村民集会には、村内五つの小学校の四年生以上の児童と関川中学校の全校生徒をはじめ、教育関係者や保護者など約四百二十人が参加しました。

いじめ根絶関川村民集会には、村内五つの小学校の四年生以上の児童と関川中学校の全校生徒をはじめ、教育関係者や保護者など約四百二十人が参加しました。

いじめ根絶関川村民集会には、村内五つの小学校の四年生以上の児童と関川中学校の全校生徒をはじめ、教育関係者や保護者など約四百二十人が参加しました。



「心の病を治せる 名医になつて ください」



伊藤 賢人さん
(関川中3年・辰田新)

この集会は、関川村からいじめを無くすために、いじめについてよく考える会です。

今年は、小・中学生が一緒になって楽しみながらいじめについて考えられるように、講師をお呼びし、落語を通じて考えてもらうような新しい企画を取り入れました。今年の集会テーマは「絆」です。来年には5つの小学校が統合するので、今日の企画を通じて他の小学校の友だちと交流を深めて良いと思います。また、友だちと仲良くすることも、いじめをなくすことにつながるので、有意義な集会にしましょう。（原文の一部を掲載）

人権講演会は、落語家で関西お笑いタレントの林家花丸さんを講師にお招きしました。生の落語を聞いて大笑いになつた後の講演では、「人はそれぞれ個性があり、違つて当たり前。一人ひとりが、自分や周囲の人を大切にしますよ」と、会場を歩きながら語りかけました。また、「心の病はレントゲンやMRIには写りませんが、表情に写ります」と、表情に写ります。



す。皆さん、心の病を診ることができる名医になつてください」と約束し、いじめや差別問題について学びました。

今年の集会テーマ「絆」に合わせて、小学生から中学生までが十八グループに分かれ、絆を深める共同作業を行いました。

作業は、関川産のヒノキの木材に、一人ひとりがいじめ根絶に向けた取り組みが書いたメッセージを書いて、それを全員でパネルに貼り付け、そのパネル同士を合わせると「絆」「愛」「友」の三文字が完成するもの。共同作業を通じて、友情や思いやりの心を育みました。

一人ひとりが メッセージを始めた 共同作業

各学校でも いじめ根絶に向けて 様々な取り組み

昨年に引き続き、各学校で日ごろから実施している、いじめ根絶に向けた取り組みが発表されました。いじめアンケート調査や呼び捨て・あだ名、言葉使いについて話し合いを行ったことなど、各学校で行われている取り組みについて考えました。

- いじめ根絶標語入選作品 *敬称略
- ・手をつなごう そんな心が うれしいな
高橋 理彩(5年・大石)
 - ・ありがとう あなたの笑顔で がんばれる
長野 涼夏(6年・上土沢)
 - ・「やめようよ」その一言が 第一步
山口 奈緒(6年・蛇喰)
 - ・お互いの 気持ち知れば いじめ0
山本 智夏(1年・滝原)



◀が入選した四人には、表彰状が手渡されました。



◀各小・中学校の代表が
分かりやすく発表